

# 森林環境教育 岡垣町内浦小学校 2023年1月20日

校庭の樹木と仲よくなろう  
～ネイチャーゲーム～



内浦小(うつら)の西側は湯川山、孔大寺山がそびえ、北側50mほどに三里松原の松林がひろがります。

校庭には隣接する若宮神社のご神木のクスノキがあり、ヤドリギが寄生するエノキがありと自然豊かな環境です。今回は、元気な5年生8名(3名欠席)と五感を使って「フィールドビンゴ」を楽しみました。知的好奇心にあふれる子どもたちは、チクチクする葉はあっちだよ、木につく木(ヤドリギ)はこっちだよ、と先導してくれます。頼もしい5年生たちです。

瞳をキラキラさせて、触ったり、匂ったり、走ったり、植物の特徴に感心したりと、思いきり自然と触れ合うことができました。



森林の働きと関係の深い「岡垣町の自然」について話しました  
こちらの様々な問いかけに活発な発言がありました  
岡垣町のことを良く知り、町が大好きな様子が伝わってきます  
通学路の途中でみられる湯川山の景色を話す様子が印象的でした  
また、家の近くで森林火災が発生しヘリコプターが放水して消火したが、火が近くまで来て怖かった、との経験談も聞かれました



## 5年生のふりかえりの言葉

- ・木の種類や役割を知ることができた
- ・1年から見てきた校庭の景色が、当たり前えのものではなく貴重なものだを知ることができた
- ・木が生きていて呼吸もしていることがわかった
- ・植物のこと、自然のことがもっと知りたくなった
- ・クスノキの葉の匂いやダニ部屋など、たくさんの気づきがあった
- ・森のために何かできることはないかと思った
- ・ヤドリギにヒレンジャクが飛んできたらすぐ先生に教える

自然の不思議なところや面白いところに気づく様子がみられて  
スタッフも嬉しくなりました

スタッフ 諸石、高田、常藤(報告)